

F5-1
(82分)

躓きの理解とアセスメント

- ◎ はじめに
- ◎ 英語授業での躓き
 - 根拠のある指導の大切さ
 - “特別”でなくなった特別支援
 - LD(学習障害)とは
 - LDの子どもは何に困っているのか
 - 学習困難の要因
 - 英語教科における現状と問題点
 - MIM: 多層指導モデル
 - 英語授業での躓きいろいろ
- ◎ 読み書き困難(ディスレクシア)の基礎知識
- ◎ 読み書きの発達に沿った指導を目指す
- ◎ 気づきにつなげるアセスメント



なぜ躓くのかを把握して
適切な指導につなげる!

読み書きの発達に
沿った丁寧な指導!
ボトムアップのスキルを
一つひとつ確実に
クリアするために!

F5-2
(52分)

アルファベットの指導

- ◎ アルファベット学習のステップ
- ◎ アルファベットのフォント
- ◎ アルファベットの指導教材
 - 文字形の認識
 - 文字と音の対応
 - 大文字と小文字のマッチング
- ◎ 書き指導
 - チェックポイント
 - アルファベットの文字指導のあり方
 - 書く指導の順序
 - 段階的な四線指導
 - さまざまな教具・教材



英語の読み書きが 困難な 児童生徒への 指導

～音韻認識とデコーディングを中心にした学びのステップ～



商品番号: F5-S 全3巻・分売不可 15,000円+税(送料別)

指導・解説: **村上 加代子**

(神戸山手短期大学 准教授) ※2017年11月現在

英語圏では、ディスレクシア(読み書き困難)の出現率は10%以上とも言われています。日本でも、英語を学習する児童生徒には、その可能性が潜在的に存在しており、英語学習に躓く児童生徒の多くが、読み書きの基本的なスキルが身に付けられず、その後の文法や読解に繋げることが難しい状態にあります。

そこで重要になるのが、音韻意識とデコーディングです。暗記中心の学習ではなく、単語を読むための前提条件となる「音」や「文字」について学び、文字の音声化ルールを適応できるようになれば、躓きが回避される可能性が高いのです。

今回は、英語授業での躓きとその背景、そしてアルファベット指導から音韻認識、デコーディング指導まで、様々な研究結果や村上先生の実践経験をもとに講義します。英語学習での躓きは決して珍しくなく、今後より一層必要となる考え方・指導法です。

是非このDVDをご覧ください、日々の英語指導にお役立てください。

購入特典

講義の中で使用したワークシート(一部改変)
PDF形式3ページ
弊社通販サイト内の「特典ダウンロードセンター」より
資料をダウンロードできます。

※商品記載のパスワードを入力後、
手順に沿ってダウンロードしてください。

丸暗記ではない、
文字の音声化スキルを身に付ける!

F5-3
(69分)

音韻認識とデコーディング

- ◎ 音韻認識指導の流れ
- ◎ 音韻認識指導
 - 音韻認識の基本操作
 - 音節認識の指導
 - オンセット-ライム認識指導
 - 音素認識指導
- ◎ デコーディング指導
 - 文字の操作
 - 読みの経路
 - 英語圏での英語読み書き指導
 - 段階的なフォニックス指導事例
 - 3文字以上から出現する躓き傾向
- ◎ 音韻認識指導+デコーディング指導
- ◎ まとめ

